

2012年度受託研究概要報告

神戸市広報印刷物のデザイン性向上についての研究

研究メンバー

かわいひろゆき	デザイン学部ビジュアルデザイン学科教授
今村文彦	デザイン学部ビジュアルデザイン学科教授
金子照之	デザイン学部ビジュアルデザイン学科准教授
高台泳	デザイン学部ビジュアルデザイン学科助教

委託者

神戸市

研究概要

本研究の目的は、「デザイン都市・神戸」推進の一環として、神戸市が制作する広報印刷物のデザイン性向上をめざすとともに、デザインを学ぶ学生に実践的なデザイン制作の場を提供することを目的としたものである。様々な広報印刷物の中でも、特に「ポスター」というメディアを中心に、実践的な研究がおこなわれた。

今年度は「ウォーターフロント港都神戸」ポスター、「長田区役所高取山耐寒スタンプテーリング」チラシ作成、「高齢者虐待防止啓発」ポスター、「神戸市立幼稚園新入園児募集」ポスターの4種類であり、それぞれ、かわい、今村、金子、高が担当した。

「ウォーターフロント港都神戸」ポスターは、神戸市が30年先を見据えて開発を進める港湾地域の市民へのアピールを目的に制作された。5月のオリエンテーションから12月のポスター納品まで長期で実践的なクリエイティブ作業が行われ、成果物としてA1ポスターを制作し、情報誌でも紹介された。

「長田区役所高取山耐寒スタンプテーリング」チラシは、毎年2月に開催される当該催事の告知を目的とし、学生らしい趣向のものという依頼のもとにスタートした。文字情報が大量にありレイアウトにバリエーションがないようであったが、実際にスタンプテーリングのルートを回り、高取山にも登り、現地調査をして土地勘を養った。その後、制作に入り、10名の学生から最終的に1名の作品が採用された。

「高齢者虐待防止啓発」ポスターは、10月の強化月間に向け、高齢者虐待や通報窓口の認知度アップを目的

に制作した。神戸市保険福祉局からの概要説明を受け、B2縦、B3横、A3縦の3種類のポスターをデザインし、6名の案からひとつが採択され、微調整を加えて完成した。

「神戸市立幼稚園新入園児募集」ポスターは、10月に実施される新入園児募集を目的とし、案内ポスターの制作を行った。コンセプトは次の3点である。第1は応募できる幼児や入園手続きの日程、幼稚園名などをできるだけ目立たせること。第2は多くの市民に対して幼稚園の認知度をあげるとともに、入園人数を増加し、市立幼稚園の活性化につなげること。第3は園児の描いた絵を中心に配置し、入園該当児の目にとめることである。

研究成果

「ウォーターフロント港都神戸」ポスターは、市側によるオリエンテーションの後、9名の学生が担当者と打ち合わせを行い、現地視察を経てデザイン案を出しあい、最終プレゼンテーションが実施された。1案が採択されてからは、担当学生がコピーライティング、写真、撮影などを行い、ポスターのデザインを完成させた。市の担当者を交えた反省会も行われるなど、実践的でトータルな学びができた。後日、ポスターのデザインをそのまま縮小してクリアファイルを制作。好評を得た。

「長田区役所高取山耐寒スタンプテーリング」チラシの成果物は、区役所からも高い評価を受けるとともに、区内各所で張り出され、好評を得た。学生にとっても、文字量の多さに苦闘しながらも、デザインが社会に果たす役割や意味について経験するよい機会となった。

「高齢者虐待防止啓発」ポスターは、平成24年10月の1ヶ月間、神戸市内の自治会、区民センター、介護施設、スーパー等の掲示板に掲示された。クライアントの意向をデザインに反映させること、テーマの表現方法、3種類のポスター制作のための調整など、デザインの実践的体験ができた。成果物の評判も良く、9月29日の神戸新聞に記事が掲載された。

「神戸市立幼稚園新入園児募集」ポスターは、概要に記した3つのコンセプトをもとに、従来の制作物とのシリーズ性も考慮しながら制作を行った。メインとなる園

児の絵は神戸市側から提供され、なるべく原画を生かすために、パソコンでのトーン・コントラストの修正などの作業は最小限に止めた。なお、一昨年のバックカラー

は青、去年は緑であったことを受け、ピンクとオレンジの2案を提示し、ピンクが採択された。



図 ウォーターフロント港都神戸 ポスター



図 高齢者虐待防止啓発 ポスター



図 長田区役所高取山耐寒スタンプラリー チラシ

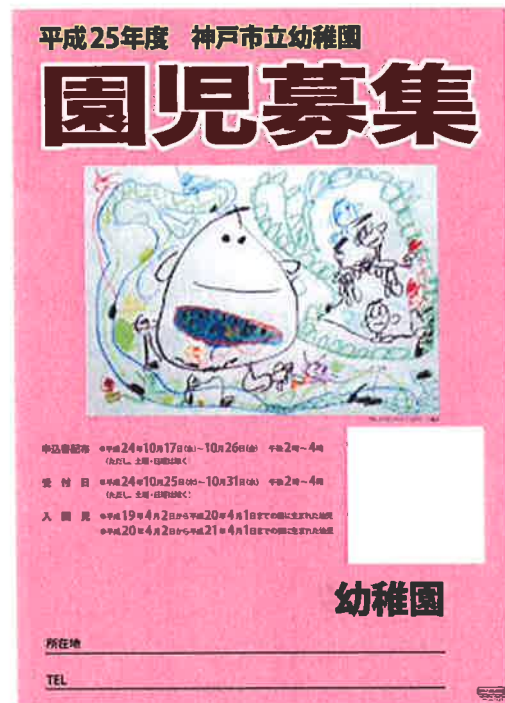


図 神戸市立幼稚園新入園児募集 ポスター